

2022年を振り返る 10の話題



公共施設利用 予約がネットで可能に

3月15日から利用者登録をする
と、中央公民館や総合体育館など
公共施設の空き状況の確認や予約
登録がインターネットで行えるよう
になりました。

✳️電子図書館も開設

1月15日からぎょうだ電子図書
館サービスが開始し、小説や旅行
誌などを電子書籍で読むことが
できるようになりました。貸し出しは
1回2冊までで期限は2週間。気軽
に読書を楽しんでみませんか。



郷土博物館 来館者 200万人突破

昭和63年に開館した郷土博物
館は令和4年で開館35周年を迎
え、10月2日には来館者200
万人を達成しました。博物館では
企画展をはじめ、親子で楽しめるイ
ベントや歴史講座などさまざまな催
しを通して、今後も行田の歴史を
伝えていきます。



花き農家応援 花いっぱい運動



コロナ禍で需要が低迷する市内
の花き農家支援のため、地元産の
花を使った、花いっぱい運動を行
っています。テクノ・ホルティ専門
学校学生による花装飾や、ものつ
くり大学学生が「柎」をコンセプト
に制作した装飾なども設置され、
忍城址周辺やヴェールカフェ前は、
鮮やかな花に彩られたフォトスポ
ットになっています。

小学校5校が 閉校し 2校が開校

3月31日をもって5小学校(中
央・星宮・荒木・須加・北河原)が
閉校し、4月から中央小学校と星宮
小学校は「忍小学校」として、荒木
小学校と須加小学校は「見沼小
学校」としてそれぞれ再編成され開
校しました。また、北河原小学校は
南河原小学校へ編入。各校の伝統
と精神は新しい学び舎に受け継が
れました。



行田羽生資源 環境組合設立



4月1日、羽生市と共同で一般廃
棄物処理施設を整備するため、一
部事務組合が設立されました。新
ごみ処理施設は、小針クリーンセ
ンターの隣接地に建設し、令和9
年度中の稼働を目指しています。

年末の大掃除や年始の
あいさつなど何となく慌
ただしく過ごしてしまう正
月休み。

ここでちょっと一息つ
いて、温かいお茶でも飲
みながら2022年を振り
返ってみませんか。お茶う
けに行田のトピックスは
いかがでしょうか。

2023年もホットな話題
が溢れる行田を目指し各
種事業に取り組んでいき
ます。

新年も皆さんに
とってすてきな年
でありますように。



公民連携総合窓口 Co-Labo Gyoda 開設

変動する社会の中で、民間の力
を活用しながら地域課題を解決
していくために、4月に民間事業者
などとの連携のワンストップ窓口
を設置しました。現在、まちづくり、
環境、福祉などさまざまな分野
での連携が始まっています。



全世帯8月から 水道基本料金無料



8月から令和5年1月までの6
カ月間水道料金の基本料金を無
料とし、エネルギー価格や物価高
騰の影響を受けた住民や事業者
の負担を軽減するための支援を行
っています。

市では、常に安全・安心な水道
水を供給できるよう、水質管理に
努めています。新型コロナウイルス
感染症やインフルエンザなどの
感染予防のため、水道水で手洗
い、うがいをしましょう。

4カ月連続 キャッシュレス決済 ポイント還元

市内での消費喚起、キャッシュ
レス化の促進による「新しい生活
様式」の普及を目的とし、9月
から12月まで行われた「足袋の
まち行田! キャッシュレス決済
でお得に買い物キャンペーン」
。最大で4万円分のポイント
還元となりました。



田んぼアート アニメ『アオアシ』



14回目となる2022年のデザ
インは、日本の代表的な文化で
あるアニメ・漫画に着目し、人
気サッカーアニメ『アオアシ』と
コラボレーションしました。6月
には総勢683人で田植えが行われ、
11月には刈り取りが終了。約4,770
キログラムのお米が収穫されま
した。そしてまた次の作品の準備
が始まります。

中学校全学年 給食費無償化

新型コロナウイルス感染症感
染拡大の影響による子育て世帯
の負担を軽減するため、令和4
年度の中学校の学校給食を無償
としました。給食では、行田市
産米「彩のかがやき」を使用す
るなど地産地消に積極的に取
組んでいます。

